

1 岐南町地域公共交通計画における課題（住民に関する課題）

(1) 買い物・通院をはじめとした多様なニーズに対応した公共交通ネットワークの構築

- ・高齢者や交通弱者の移動手段の確保
- ・暮らしのニーズに合った運用や利用方法の改善

(2) 町外への通勤・通学ニーズに対応した公共交通ネットワークの構築

- ・町域を超える広域的な移動需要に対する鉄道や路線バスへのアクセスの確保
(通勤：町外 73% うち県外 26%、通学：町外 75% うち県外 23%) ※令和2年国勢調査

2 現在の公共交通の運行状況（令和6年度実績／令和7年度見込み（上半期×2））

(1) コミュニティバス

①運行実績 利用者数：12,839人／14,564人（113%）、運行費：34,939千円／35,601千円（102%）

【1日あたり】利用者数：43.8人／48.9人、運行費：119,246円／119,466円

【1本あたり】利用者数：4.4人／4.9人、運行費：11,925円／11,947円

②年間利用率上位5か所の停留所における利用状況（年間293日）

停留所	利用率	1日あたりの乗降者数				
		全数	右(乗)	右(降)	左(乗)	左(降)
笠松駅	25.5%	22.3人	2.3人	11.5人	4.6人	3.9人
岐南町役場	6.3%	5.6人	1.1人	2.4人	1.1人	1.0人
やすらぎ苑	4.5%	3.9人	1.4人	1.1人	1.1人	0.4人
伏屋第四	4.4%	3.9人	2.3人	0.6人	0.1人	0.9人
岐南駅	4.3%	3.8人	0.4人	1.0人	1.1人	1.4人

③各停留所における1日あたりの乗降者数

	5人以上	3人以上5人未満	1人以上3人未満	1人未満
停留所数(該当割合)	2か所(4%)	4か所(8%)	21か所(45%)	20か所(43%)

(2) コミュニティタクシー

①運行実績 利用者数：3,142人／4,068人（129%）、運行費：3,264千円／4,094千円（125%）

【1日あたり】利用者数：12.9人／16.7人、運行費：13,432円／16,848円

【1本あたり】利用者数：1.8人／2.0人、運行費：1,882円／2,037円

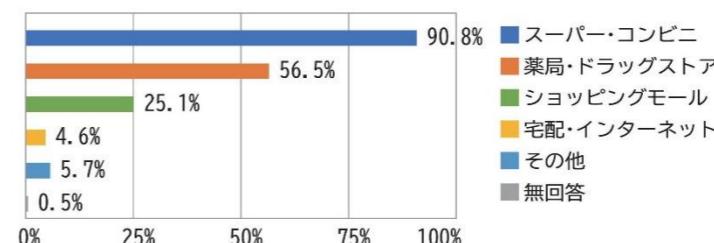
②年間利用率上位5か所の停留所における利用状況（年間243日）

停留所	利用率	1日あたりの乗降者数		
		全数	乗	降
松波総合病院	9.0%	2.3人	1.0人	1.4人
しみず整形外科リハビリクリニック	7.4%	1.9人	0.8人	1.1人
くつろぎ苑	6.6%	1.7人	0.9人	0.8人
うれしの認定こども園	6.4%	1.7人	0.9人	0.8人
笠松駅	5.3%	1.4人	0.4人	1.0人

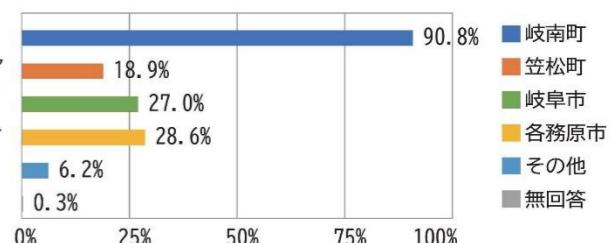
3 高齢者アンケートの結果（令和6年度実施）

(1) 買い物の行き先と移動手段

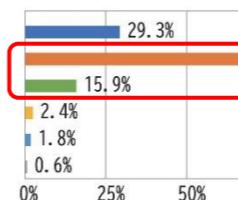
主な買い物先は（行き先）



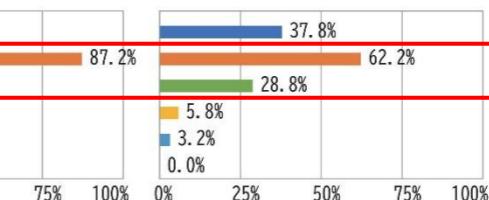
主な買い物先は（場所）



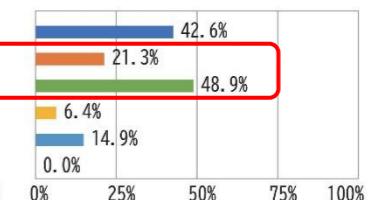
【65歳～74歳】



【75歳～84歳】

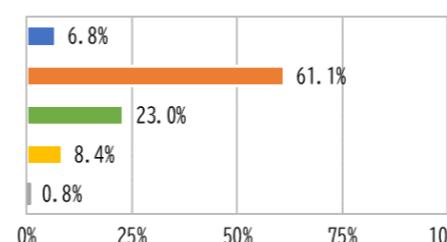


【85歳以上】

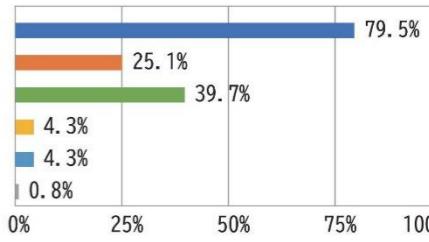


(2) 医療機関の行き先と移動手段

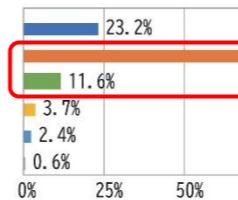
医療機関の通院回数の頻度は



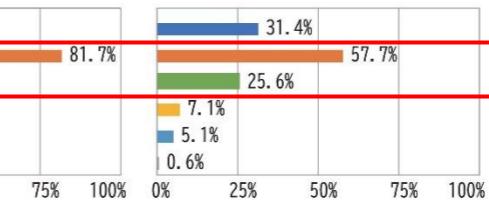
かかりつけの医療機関は



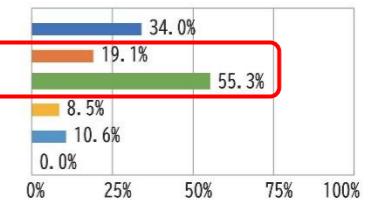
【65歳～74歳】



【75歳～84歳】



【85歳以上】



(3) 買い物と医療機関の共通点

- ・行き先は、岐南町が最も多いが、岐阜市、各務原市、笠松町の近隣の市町でほとんどを占めている。
- ・移動手段は、年齢が進む毎に「自分で運転する」割合が減り、「自分で運転しない」割合が増える。
- ・公共交通機関の割合が低く、徒歩・自転車以外は、家族や知人に送迎を頼んでいると考えられる。

4 ワークショップの結果（令和7年度実施）

（1）開催状況

第1回 8月23日(土) 13:00~16:00 徳田町民センター 集会室

第2回 8月24日(日) 13:00~16:00 中央公民館 講堂

第3回 8月30日(土) 13:00~16:00 やすらぎ苑 交流ホール

(人)

	住民									岐大	合計	報道機関
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計			
8/23	1	1	3	3	4	1	4	1	18	5	23	0社
8/24	0	0	1	0	3	3	4	2	13	5	18	2社
8/30	1	1	1	1	6	5	3	0	18	5	23	2社
合計	2	2	5	4	13	9	11	3	49	15	64	4社

（2）グループワーク協議結果

将来の持続的な岐南町の公共交通を実現するために、現実的な公共交通のバランス（予算配分）をグループワークで協議した結果（現在の予算配分割合：バス90%タクシー10%）

(%)

	Aグループ		Bグループ		Cグループ		Dグループ		Eグループ		各回平均	
	バス	タク	バス	タク								
8/23	55	45	40	60	75	25	90	10	80	20	68	32
8/24	60	40	40	60	40	60	-	-	-	-	47	53
8/30	55	45	50	50	90	10	65	35	-	-	65	35

（3）グループワークのまとめ

①コミュニティバスの利用目的

・10代～50代の現役世代の通勤通学に対する割合が最も高く、優先度も高い

②コミュニティタクシーの利用目的

・70代～80代の高齢者の買い物や通院に対する割合が最も高く、優先度も高い

・子育て世代にも一定にニーズがある

③利用目的に合わせた公共交通手段

・通院について、70代まではコミュニティバスのニーズが高いのに対し、80代以上ではコミュニティタクシーのニーズが高まる傾向があり、自力歩行の難しさが影響していると考えられる

④各グループの協議結果による現実的な公共交通のバランス

	第1回	第2回	第3回	平均
コミュニティバス	68%	47%	65%	60%
コミュニティタクシー	32%	53%	35%	40%

5 運行形態別の課題とアンケートやワークショップを踏まえた解決案

（1）コミュニティバス

①課題

- ・巡回バスに伴う1周70分の時間短縮
- ・名鉄の駅（笠松・岐南）や岐阜バスの停留所（三宅）などへ短時間で繋ぐ
- ・乗客数が多い時間帯に資源を集中し利便性を上げる

②解決案

- ・通勤通学を主目的に
- ・巡回型から直線型ルート変更（平島地区から笠松駅）
- ・主要停留所以外を減らし直線に近い最短ルート
- ・朝6時～9時に便数を集中し増便（1日の便数は減便）

（2）コミュニティタクシー

①課題

- ・事前予約と予約確認の2回の電話が煩雑
- ・1時間単位の運行で予約時間も1時間刻みで便数が少ない

②解決案

- ・買い物や通院を主目的に
- ・予約回数1回かつ随時予約へ変更（予約から30～40分で乗車）
- ・オンライン予約やキャッシュレス決済の導入
- ・岐南町以外の乗降エリアの拡大（現在：笠松駅と松波総合病院）

6 運行形態別の方針と主な事業予定

（1）運行形態別の方針

①コミュニティバス

- ・事業対象者：高校生や大学生などの学生、会社員などの勤労者など
- ・主な用途：朝の時間帯の通勤通学に対応
- ・見直し要件：朝の時間帯に特化し名鉄の駅へ直線で結ぶ運行

②コミュニティタクシー

- ・事業対象者：高齢者、障害者、免許返納者、妊娠婦（乳幼児含む）など
- ・主な用途：食料品などの買い物や医療機関への通院に対応
- ・見直し要件：予約回数1回の随時運行でオンライン予約などのデジタル化に対応した運行

（2）年度ごとの主な事業予定

①令和8年度

- ・岐南町地域公共交通計画の改定
- ・コミュニティタクシーの見直し

②令和9年度

- ・コミュニティバスの見直し